

四 参 考

(一) 戦 訓

(1) 新航空戦隊司令部、現地編成ハ現状ニ於テハ極力之ヲ避ケ

内地ニテ編成ノ上現地ニ進出スルヲ建前トスルヲ要ス

司令部ノ人員並ニ物件ノ整備ハ殆ド其ノ大部ヲ内地ヨリノ送致ニ

俟ツノ外ナキ現地ノ状況ニ於テハ司令部ガ内地ヲ出發スル前ニ人員

物件ノ準備輸送方法等ヲ確定シテラザル限リ現地ニ於ケル新司令

部ノ整備ハ長時間ヲ要ス

當戦隊ハ九月一日編成セラレ麾下航空隊モ亦同日附改編新設

アリタル所同一方面ニ於テ是等ノ編成改編事務重複シ且

内地ヨリノ輸送亦澁滞セシ爲メ現地ノ人員物件一層不足シ

九月下旬ニ至ルモ僅ニ其ノ約半数ヲ轉入調達シ得タルノミ

狀況ニテ作戰基地ニ進出セシガ所在航空隊亦改編中ニシテ

人員物件ニ不足ヲ告グル狀況ナリシナリ

(四) 前項ニ關聯シテ新司令部ノ迅速ナル現地編成ヲ可能ナラシムル爲速ニ現地關係各廳ノ整備ヲ促進スルヲ要ス

當戰隊現地編成ニ際シ所在軍需部、經理部、航空廠等ニ於テハ司令部ノ受入ルベキ兵器、需品、圖書類ノ大部不足ニ特ニ重要兵器皆無ニ結局内地ヨリノ送致ニ俟タザルヲ得ザル狀況ニ在リタリ、依テ新設部隊初度供給ノ兵器、需品、圖書類ハ新設部隊ノ内容(基地航空戰隊、航空戰隊、戰隊、如シ)ニ應ジテ豫メ區分準備シ簡單迅速ニ受入レ得ル如クスル要アリ

(ハ) 無線通信ハ航空戰隊司令部ノ機能發揮ノ鍵ナリ麾下航空隊無キ昭南ニ於テ指揮ヲ執ルト雖モ結局徒ニ費消時大ニ通信ノ往復ノミニテ終始シ實質的指揮掌握不可能ナリキザハシ進出後亦麾下航空隊アリト雖モ通信關係兵器

人員揃ハズ通信ノ不如意ニ依リ指揮ヲ著シク害アレ
クルモノト認ム

基地航空戦隊ハ少クトモ通信關係ニ於テハ獨立シテ機能
ヲ發揮シ得ル人員器械ヲ擁スルヲ絶對必要トス 特ニ近時
大規模ナル綜合航空基地建設セラレ基地航空戦隊司令
令部ハ航空隊本部ト離隔セル場所ニ位置シテ隊務ヲ遂
行セザルベカラザル場合多キニ於テ然リトス

基地航空戦隊(特ニ方面艦隊兵カタルモノ)ノ編制 兵器
ノ供給ハ從來ノ母艦航空戦隊ヲ基本トシ之ニ若干ノ
姑息的修正ヲ施シタル現狀ヲ打破シ根本的ニ立テ替
フルノ要切ナリト認ム

1930

(二)
寫
眞

